



No. 7

令和7年10月28日発行
能登町立能都中学校
学 校 便 里

100-1=0

校長 小原 正義

「100-1」はいくつになりますか？そうです。99です。普通はそう答えますよね。しかし、帝国ホテルの前総料理長の田中健一郎さんは「100-1=0」であると言います。これは田中さんの仕事への誇りと気構えを表した式です。料理人の田中さんは「料理とは手を抜かぬ心によってこしらえるもの」と言います。料理の世界では、たった一つの妥協やごまかしで味のすべてが台無しになる、つまり「0になる」と言います。

みなさんも学級や学校で自分の役割があると思います。

任せられた役割を、手を抜かないで取り組む、最後までやり遂げる、そんな姿を期待します。

10月31日は、能都中祭があります。先日合唱の中間発表がありました。クラス全員の力を結集して本番に臨んでほしいと思います。まだまだ伸びしろがあるように感じました。あと1週間いかに取り組むかが試されると思います。役割を全うし、クラスの一員として全力で取り組んで成果を出してください。楽しみにしています。

10月1日～3日にかけて関東方面へ3年生が修学旅行へ行きました。2日目班別行動自主プランを実施しました。うまく目的地まで行けるのか、迷子にならずに帰ってこれるのか不安がある中チェックポイントに待っていると、時間通りに一つのグループがやってきました。みんなで協力し、楽しそうにしている様子を見て、安心するとともに、頼もしく感じました。そして最後の集合時間には、どのグループも時間までに集まり、次のディズニーランドを満喫していました。団体行動の基本、時間を守り、ルールを守ることができていたので、思い出に残る修学旅行になったと思います。私はジャングルクルーズの船長の演技力に感心していました。



3年生 修学旅行 10月1日（水）～10月3日（金）

2泊3日の行程で、修学旅行に行ってきました。葛西臨海水族館や国会議事堂の見学、劇団四季ミュージカル「ライオンキング」を楽しみました。班別自主プランでは、仲間と協力しながら計画を立て、実際に行動する楽しさと達成感を味わうことができました。浅草や上野動物園など、班ごとに選んだスポットを巡りながら、東京の魅力を肌で感じることができました。



1年生 校外学習 9月29日（月）

のと里山里海ミュージアム、のとじま水族館に行ってきました。ミュージアムでは、実物展示や模型、映像、クイズ形式の解説など、生徒たちが五感で楽しめる展示が充実していました。



2年生 金沢研修 9月29日(月)

金沢大学理工学域、生命理工学類、海洋生物資源コースを見学させていただきました。また、班別自主プランとして、ひがし茶屋街や近江町市場などグループごとに回りました。



生徒会役員*任命式 能都中祭*決起集会 10月9日(木)

9月22日に行われた生徒会役員選挙立会演説会、投票の結果、信任された6名の任命式が行われました。後期生徒会会长は赤崎文香さん、副会長は大平志歩さん、役員は和田穂乃花さん、水元帆那さん、渡怜亜さん、廣田美穂さんです。その後、能都中祭の決起集会が行われました。後期生徒会役員から能都中祭について「スローガンの紹介」「スローガンに込められた思い」「壁画のテーマ」などの説明がありました。

おもしろ実験室 10月16日(木) さつまいも収穫体験 10月23日(木) 24日(金)



全国大学技術組織による、理科支援プロジェクト、出前おもしろ実験室がありました
①-196°の世界
②ミニライト作り
③燃料電池の実験
④ロボットの操作
4つのブースを生徒たちは意欲的に回っていました。



1年生、2年生は、日本海俱楽部ザ・ファームさんのご厚意により、さつまいもの収穫体験をさせていただきました。収穫後は、おいものお土産もいただきました。

おめでとう

☆令和7年度JA共済書道コンクール

条幅の部 銅賞 1年 政田 治樹

保護者の方・地域の方へ

本校では、日頃より保護者や地域の皆さんに、生徒たちの学校生活の様子をご覧いただけるよう、授業の公開を行っております。ぜひ学校へ足をお運びいただき、生徒たちの授業の様子、活動の様子をご覧ください。

皆さまのご来校を、心よりお待ちしております。※ご来校の際は玄関にて記名と名札の着用をお願いいたします。

日本PTA全国協議会年次表彰式において能都中学校PTAが表彰されます。

☆令和7年度日本PTA会長表彰(団体)

2学期の通知表渡し・三者面談は、
24日(水) 13:30~16:00
25日(木) 9:00~12:00, 13:30~16:00
に実施する予定です。

11月

- 3日(月) 奥能登タウンミーティング
4日(火) いしかわ教育ウィーク(～7日)
学校公開(～7日)
7日(金) 高校説明会(3年生)
13日(木) 音楽出前授業(1年生)
14日(金) がん教育公開授業(2年生)
18日(火) 音楽の集い(1年生)
学力テスト 国・理・英(3年生)
19日(水) 学力テスト 社・数(3年生)
25日(火) いじめ対応アドバイザー来校
26日(水) 生徒会委員会
28日(金) 武道指導トップアスリート(1、2年生)

12月

- 1日(月)～3日(水) 期末テスト
5日(金) 評価テスト(2年生)吹奏楽激励会
7日(日) アンサンブルコンテスト
11日(木) 卒業証書作成(3年生)
16日(火) ヴァイオリニスト演奏会(4限目)
24日(水)・25日(木) 通知表渡し・三者面談
24日(水) 終業式



能都中祭 2025 10月31日(金)8時40分~

スローガン 挑み、輝く能都中生 ~未来をつかみとれ！可能性は無限大~

- *合唱コンクール 各学年 自由曲1曲の合唱（最優秀賞を表彰）・団合唱
1年生「COSMOS」 2年生「明日へ」 3年生「手紙～拝啓 十五の君へ」
団合唱「あなたへ～旅立ちに寄せるメッセージ～」
- *学年壁画：学年で「挑む」をテーマに壁画を作成（最優秀賞を表彰）

ご家族の皆さん、地域の皆さん、ぜひお誘い合わせのうえ、お越しください。



学校評価～前期の教育活動を振り返って～

9月26日(金)、学校評価中間報告を行いました。4名の学校評議員の皆様には、はじめ授業の様子を参観していただき、その後で、学期末に行った生徒・保護者・教職員アンケートの結果をもとに本校の教育活動の成果や課題について話し合い、ご助言をいただきました。この会でのご意見や改善策等を、後期の活動に生かして取り組みます。なお、中間報告の詳細は能都中学校ホームページに掲載していますのでご覧ください。

☆学校評価中間報告より☆

※保ア:保護者アンケート、生ア:生徒アンケート、教ア:教職員アンケート () 内はR6年度最終

1 生徒指導の充実

生 ア	自分にはよいところがあると思う。	78.9% (79.8%)
	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。	84.4% (86.5%)
	学校へ行くのは楽しいと思う。	76.1% (79.7%)
	いじめはどんな理由があってもいけないと思う。	91.7% (94.3%)
保 ア	お子さんは、学校へ行くのが楽しそうだ。	81.9% (87.2%)
	学校は、いじめや問題行動の未然防止・早期発見に努めている。	67.5% (89.3%)
	教職員は、生徒の気持ちや内面を理解しようとしている。	74.7% (82.9%)
教 ア	生徒の様子の小さな変化にも気付くように意識している。	100.0% (100.0%)
	各種アンケートをもとに、人間関係づくりに取り組んでいる。	100.0% (91.6%)
	学校生活の中で言葉遣いに注意を払い、適切な言語環境を整えている。	92.3% (100.0%)

生徒指導対応については、日頃から生徒の話をじっくり聴くようにしている。生徒の小さな変化を見逃さないようにアンテナを高くし、気になることは教職員で共有し、対応を共通理解している。また、問題行動への未然防止や早期発見、対応について組織体制を確実なものにしていく。2学期からは、人間関係作りや体験活動を増やし、人と関わる力を育成していく。さらに、人権感覚を高くして言語環境を整えて、適切な言葉遣いへの生徒の意識を高めていくためにも、不適切な言葉遣いや差別的な発言に対しては毅然とした態度で指導していく。

2 確かな学力の育成

生 ア	授業では、課題に対して、自分で考え、自分から取り組んでいると思う。	84.4% (88.7%)
	授業では、ペアや全体に対して伝えたり、発表したりする場面がある。	74.3% (73.0%)
	授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っていると思う。	89.0% (93.2%)
	友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聴くことができていると思う。	91.7% (98.8%)
	授業では、自分の考えを他の人に伝えたり、書いたりすることができていると思う。	80.7% (83.1%)
	生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う。	80.7% (82.0%)
	授業はわかりやすいと言っている。	54.1% (80.8%)
保 ア	家庭では、テスト10日前から、9時以降、3ノー（ノーテレビ、ノーゲーム、ノーSNS）に取り組んでいる。	33.7% (21.2%)
	各種学力調査の分析を生かし、学習指導の工夫・改善に努めている。	81.8% (100.0%)

教 ア	授業で、インプットさせる内容を明確にしている。	100.0%
	授業で、インプットさせるための手立てを工夫している。	100.0%
	生徒が授業でインプットすべき内容を見につけている。	75.0%
	生徒が授業で「求める内容」をアウトプットできている。	91.7%
	主体的・対話的で深い学びが実現されている。	58.3% (75.0%)

「授業はわかりやすいと言っている。」(保ア)で肯定的な回答が大幅に減少している。授業の中で、生徒が「これがわかった!」「できた」と実感できる授業を目指し授業改善に取り組んでいく。そのためにも、どんな発問をすることで生徒の主体性を引き出すことができるのか、授業のゴールをどこに設定し、そのためにどのような学習活動を設定すればよいのか。このような理解不足を解消するために、研修の充実や、他の教員の実践例を共有する、他校の研究授業を積極的に参観するなど個々の指導力を高めていく。また、家庭学習の量については、引き続き課題となっており、基礎・基本の定着に関わっていると考えられます。テスト前の3ノートに取り組むことができている生徒が半数に満たないことから、家庭学習の課題はインターネット等の利用時間が多いことと関係があると考えられます。今後は、生徒が自主的・計画的に家庭学習を進めていくように働きかけると共に自己指導能力が育成できるよう取り組んでいきます。

3 健康安全教育の推進

保ア	学校は生徒の安全を守るために努力している。	86.7% (91.1%)
教ア	危機管理意識をもって教育活動を行っている。	92.3% (100.0%)
	生徒自らが危険を察知・回避する力を育成している。	92.3% (83.3%)

避難訓練では、真剣味が感じられない場面も見られた。消防署や警察等の外部機関との連携を図り、客観的な評価と、学校だけでは補えない知識や体験を取り入れることで、訓練の質や生徒の意識を高めていく。また、事前指導や訓練実施後の振り返りを充実させることで、生徒一人一人が自分事として危険を捉え、どう行動すべきかを考え教職員の指示がなくても安全に避難できる力を高めていく必要がある。今年度は、防災用折りたたみヘルメットを生徒の机の横に配置している。避難や身を守る行動をとる際に適切に使用できるように指導していく。

4 信頼される学校づくり

生ア	家人と学校の出来事や将来のことについて話をする。	67.0% (71.9%)
保 ア	学校は、何事に対しても誠実に対応している。	85.5% (93.6%)
	家庭では、学校の話などの会話をよくしている。	79.5% (70.2%)
	教職員は、保護者との連携を密にしている。	75.9% (80.9%)
	学校からの各種便りの発行やホームページの更新などは十分である。	80.7% (83.0%)
教ア	保護者・地域へ、積極的に情報発信を行っている。	84.6% (92.3%)

生徒の気になる様子については保護者との連絡を密に行い、事実を伝えるとともに学校としての支援・指導の方針を保護者に説明し協力を求めていく姿勢を大切にしている。生アでは、学校での出来事や将来について家庭で話す機会が減っている。学校便り・HP、totoruを通して、日々の教育活動をタイムリーに伝えることで、話をする共通の話題のきっかけとなるようにしていきたい。また、学校行事や学校公開の様子だけでなく、平素の授業の様子についても積極的に発信したり、保護者や地域の方に学校にきて生徒の様子を参観していただいたりする機会を増やしていく。

5 ふるさと教育の推進

教ア	地域の人材・教材を取り入れた授業を年2回以上実施(予定)している。	61.5% (84.6%)
生ア	地域や社会で起こっている問題や出来事に关心がある。	70.6% (69.7%)
保ア	地域やふるさとについての学習に積極的に取り組んでいると思う。	70.6%

3年生は、伴旗作成の手伝いや七尾高校マリンサイエンスへの参加、2年生は、町内外の計20か所において職場体験の実施、1年生は「のと海洋ふれあいセンター」にて磯観察やシュノーケリングを実施した。これらの体験を通して、地域の人々と触れ合い、生徒は町の魅力や課題を再認識し、地元で働く人々の姿から、ふるさとへの誇りと愛着を深めることができた。これらの取り組みは、生徒がふるさとの魅力を実感する貴重な機会となっている。2学期以降も、校外学習や金沢研修、職業人講話などを通じて、地域人材や施設の活用をさらに推進する予定である。また、生徒アンケートでは約30%が地域への関心や学習への積極性を示していないことから、すべての生徒がふるさと教育に前向きに取り組めるよう、個々の興味・関心に寄り添った活動の工夫や、成功体験を積ませるための仕掛けが必要だと考えている。